

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

先端技術を先端で支える。最先端の技術開発を通して社会の発展に貢献する

売上高

5,600～7,000億円

営業利益率

22～28%

当期利益

930～1,470億円

ROIC

18～28%

② 中長期の経営戦略

1. コア市場での成長率超過

テスト・ソリューション性能向上と「Automation of Test」を通じて市場成長率を上回る事業成長を実現。ATE市場で過半シェア維持

3. オペレーショナル・エクセレンス

DX推進、サプライチェーン強化、人的資本強化、AIやデータ・アナリティクス活用で社内生産性向上に取り組む

2. 近縁・新規事業への展開

システムレベルテスト・テスト周辺機器事業を拡大。フィールド・サービス、Advantest Cloud Solutions、SiConicなどの新ソリューション提供

4. サステナビリティ強化

気候変動・人権問題への対応、法令遵守・企業倫理の徹底、リスクマネジメント強化でステークホルダー信頼を拡大

③ 対処すべき課題

① 複雑性対応と市場成長機会

- ・ AI・HPC関連半導体でテスト複雑性が顕著化。高度な自動化ソリューションが求められる
- ・ 微細化・新アーキテクチャー・先端パッケージの採用に伴うテスト技術進化への対応
- ・ 複雑性進行が業界キートレンドの中、より統合されたテスト・ソリューション実現が課題

② 経営効率性と人的資本強化

- ・ 半導体テスト需要の旺盛な伸びに対応するためサプライチェーン管理を高度化
- ・ DX投資による社内オペレーション迅速化・省人化の推進
- ・ 従業員エンゲージメント向上施策による有能人材登用・育成

③ 外部環境への対応

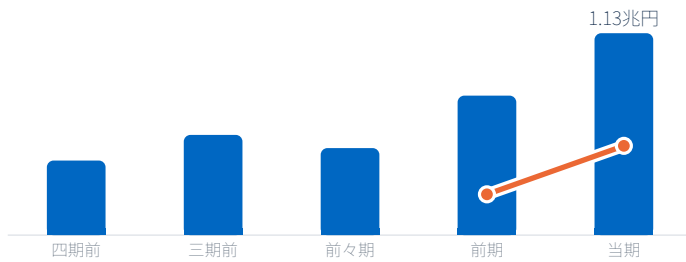
- ・ 気候変動・地政学的リスク・人口動態変化など社会課題の複雑化に対応
- ・ 半導体バリューチェーンの複雑さ増加と域内供給体制強化への対応
- ・ マクロ経済の高い不確実性下における環境変化への即応体制構築

面接で使えるポイント

- ・ 半導体テスト業界でAI・HPC関連需要が最大成長牽引役となる中、複雑性対応が構造課題。
- ・ グランドデザイン改定版に基づくMTP3（2024～2026年度）では4つの戦略を推進。
- ・ Salland Engineering買収、Technoprobe・FormFactor・日本マイクロニクスとの戦略パー…

証券コード 6857

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.13兆円営業利益率
44.2%財務健康度
84点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 72.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,098万円

電気機器内 8位/225社

平均年齢
45.68歳

電気機器内 45位/225社

平均勤続
20.16年

電気機器内 23位/225社

女性管理職
4.5%

電気機器内 110位/182社

男性育休
60.0%

電気機器内 137位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: アドバンテスト、SiConicの対応領域をDFT Engin

